

# JCSS認定区分&範囲拡大の取組

厳格化する認証試験、要求事項に対応するため、  
校正技術を早期手の内化し認定区分&範囲拡大

## 1 課題

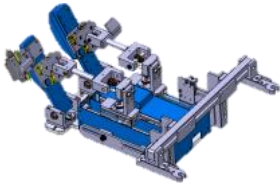
・自動運転や車載電池の開発など、

新たに求められる計測項目に適應する校正が必要

・ISO/IEC 17025やIATF16949対応などのスピーディーな対応が必要

※IATF16949とは、自動車産業に特化した品質マネジメントシステムの国際規格です。

### 例)自動運転評価計測



・ペダルドライブロボット



・ステアリングロボット

自動制御  
計測評価

電池計測  
評価

荷重

電費

操舵角

充電  
効率

### 例)電費計測



※電費計測

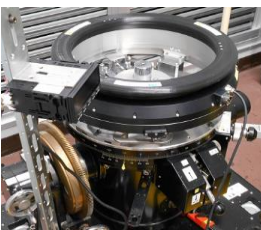
国連「WLTP」世界技術規則  
GTR No15  
附則8の4.3.4.2項



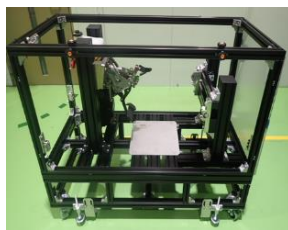
## 2 解決策

様々な計測ニーズに合わせて新たな技術でJCSS認定「区分」「範囲」の拡大

### <自動制御機器装置の校正器の開発>

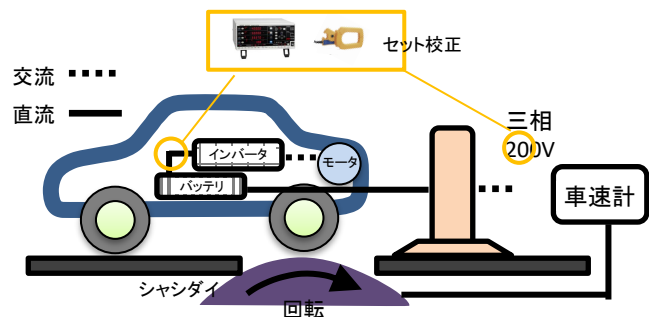


ステアリングロボット  
校正装置



ペダルロボット校正装置

### <電費・充電効率の校正手法の確立>



角度・角速度  
トルク・電気・荷重の  
認定校正に向け取組中

早期手の内化  
スピーディーな校正

BEVの電費・充電効率の  
電力評価試験と同等の  
セット校正が可能



# JCSS認定区分&範囲拡大の取組

## 3 機能・性能・スペック

### 1) JCSS認定「区分拡大」の取組

#### <認定取得区分>



#### <取得推進中>

1. 角度「deg」対象：ロータリーエンコーダ ★新規区分
2. 角速度「deg/s」、静加速度「m/s<sup>2</sup>」対象：IMU ★新規区分

### 2) JCSS認定「範囲拡大」の取組

区分	対象機器(追加分)	こんな事ができます
電気	電圧電流発生装置 <span style="color: red; font-weight: bold;">NEW</span>	お客様標準設備の校正
電気	電力測定装置 <span style="color: red; font-weight: bold;">NEW</span>	大容量バッテリー計測装置の校正
時間	ストップウォッチ <span style="color: red; font-weight: bold;">NEW</span>	テストコース実車速度評価
音響	サウンドレベルメータ <span style="color: red; font-weight: bold;">NEW</span>	お客様標準設備の校正

### 3) 高い品質・短納期・低コストでの校正対応

品質	納期	コスト
ISO/IEC 17025認定校正	メーカー <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px 10px;"> </span> 1ヶ月	メーカー <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px 10px;"> </span>
認定校正に準拠した一般校正	<span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px 10px;">50%</span> <span style="background-color: red; width: 20px; height: 15px; display: inline-block;"></span> 2週間	<span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px 10px;">80%</span> <span style="background-color: red; width: 20px; height: 15px; display: inline-block;"></span>

短納期  
低コスト

今後)  
加速していく自動運転・電動化の開発に適応できるよう**校正手法の確立、  
校正区分・範囲拡大**をニーズに合わせて取組んでいきます。



## 4 問い合わせ先

TTDC計測標準センター営業窓口

E-mail : calibration\_contact@ml.toyota-td.jp